



竹林

白河市立五箇中学校だより No. 29

発行 平成28年11月11日(金)

発行責任者 校長 長嶺 吉浩



教育目標

自ら学ぶ意欲をもち、創造性に富み、社会の変化に対応できる知性豊かな生徒の育成

目指す生徒像

主体的に学び、確かな学力を身につける生徒(知)
広い視野をもち、思いやりのある生徒(徳)
心身ともに健康で、生き生きと生活できる生徒(体)

～弁護士さんと人権の授業～



尾崎先生の授業

11月7日(月) 3校時、福島県弁護士会による出前授業を行いました。全校生が2教室に分かれて縦割りで人権やいじめについて学習しました。

講師に福島県弁護士会より安藤秀樹様、尾崎剛史様をお迎えし50分の授業を行いました。授業の中では、「どんなことがいじめになるのかな?」「いじめをみたらどうするのかな?」「心のコップがあふれてしまうのは、人を深く傷つけた何気ない一言が、最後の一滴だったのかもかもしれません。」など実際の事例を紹介していただきながら、わかりやすく授業が進みました。まとめの時にお話いただいた「人権は思いやりですね。」という言葉が印象的でした。生徒の心の中に、思いやりの心がさらに大きく育つことを期待します。



安藤先生の授業

・・漢字検定・・

11月4日(金)放課後を利用し、漢字検定が実施されました。3者相談も行われており、受験者のプレッシャーが大きい中での試験でした。すばらしい意欲です。



・・西白河PTA連絡協議会 教育講演会より・・

11月2日(水)ハウスオブベルヴィ白河において、虎ノ門カイロプラクティック院長の確田拓磨先生による「一生の宝「姿勢体力」と題しての講演会が行われました。イスに座った時に腰のカーブを維持する「よい姿勢」には体力と意志が必要であり、自分の身体を操って気分をコントロールすることになる。つまり、よい姿勢によって心と身体を律し、スポーツが得意になったり集中力が高まると共に、幸福感を感じ、夢の実現に自然と意欲的になっていくため、「よい姿勢が一生の宝」となるという内容で、具体的でユーモラスなお話でした。学校でもぜひ実践したい内容でした。

▽響く歌声 しらかわ音楽の祭典▽



11月5日(土)しらかわ音楽の祭典が白河市文化交流館コミネスで開催され特設合唱部42名が参加しました。白河市の小・中・高

等学校、一般の部、計31団体の参加による合唱合奏・演奏の音楽の祭典で、7番目に出番を迎え発表しました。曲名は「結」「エレミア哀歌」伴奏は2年生鈴木結子さんで2曲を披露しました。特に2曲目はラテン語の難しい曲ですが、一生懸命歌い上げました。今までの感謝の気持ちを伝えたいという紹介アナウンス通り、生徒のひたむきな心が伝わる歌声で重厚なハーモニーが聴衆に感動を与えました。



伴奏の鈴木結子さん

～コーディネーショントレーニング～

11月6日(日)「東京オリンピックに向けた運動能力の向上」と題して市の講習会が開かれました。保護者の皆様には参加希望をご案内したところです。徳島大学大学院教授 荒木秀夫先生をお迎えして、午前中食堂での講義、午後には体育館での実技講習となりました。参加した一般の方と野球部生徒が受講しました。



荒木教授の実技講習



食堂で

～表彰 おめでとう ございます～



平成28年度火災予防絵画ポスターコンクールにおいて鈴木万柚子(2年生)さんが銀賞を受賞し、11月2日(水)に新自信ビルにおいて行われた表彰式に出席しました。7日(月)の全校集会において表彰披露を行い栄誉を称えました。入賞おめでとうございます。

